大分市報　昭和24年5月23日（第三種郵便物認可）　第473号
（一）　昭和41年3日15日　毎月1日・15日発行

大分市報

発行所　大分市役所
編集兼発行人　大分市役所代表者　平島公一郎

昭和41年

第一回定例市議会開く

一般議案36件を提案

請願・陳情は24件

昭和四十一年の第一回定例市議会が去る五日に開かれ、昭和四十一年度の一般会計、特別会計予算案をはじめ一般議案三十六件、請願、陳情二十四件が一括提案されました。三月の議会は今年の大分市政の進む方向を位置づける重要な議会です。そこで昭和四十一年度の一般会計予算案を中心に議会に提案された主な議案を拾ってみました。

まず国体成功を目指す

市長が市政方針を説明

一般会計予算案　総額38億2千6百万円

今年の重点施策の第一は国体を成功させることです。国体まであと七ケ月、中心会場となる大分市では、その受入れ準備に多額の事業費が必要なことはいうまでもありません。国体の準備費として予算に計上した額は約六千万円ですが、このほか、国体関連事業費として道路の整備事業費や文化会館の建設工事費、清掃事業の機械力増強費などを合わせると相当の額にのぼります。そこで予算編成にあたっては、国体開催のため市民生活を圧迫することのないよう、建設、民生、農林水産関係の予算額を前年度より引き上げ、民生の安定をはかりました。

このような考えのもとに編成した昭和四十一年度の予算額は一般会計三十八億一千六百八十八万円、特別会計十一億七千八百十一万円、計五十一億五百七十九万円となりました。一般会計予算案の歳出内訳は次のとおり。

歳出

◎建設関係

建設事業は新産業都市建設の基礎準備と市民の日常生活に直結するということから、市政の最も重要な施策の一つとして取り上げてきたもので昭和四十年度の当初予算より一億四千万円の増となっています。

△土木費五億八千四百万円

国体関連道路や一般道路の補修維持、補修などに一億二千四百万円、津留、西大分、鶴崎本町の都市改造事業、新大道～南春日線、王子町～堀迫線、東新町～新出島線、寺司～二佐線の街路事業、大分城跡の整備、下水道事業など都市計画事業に三億六千五百万円、市営住宅四十八戸の建設費四千三百万円が主なもの。

△失業対策費　二億四千二百万円

道路の舗装、新設、改良、補修がその主なもので、機械力の整備も進めることにしています。

△土木災害復旧費　八百九十万円

昭和三十九年度および四十年度に災害を受けた二十二ケ所の道路の復旧費。

◎民生関係

高齢の福祉向上を図るため、民生費、衛生費あわせて八億八千八百万円を計上しました。

△民生費　七億七十万円

主なものは生活保護費五億五千一百万円、児童福祉費七千四百万円、老人福祉費二千百万円などで昭和四十年度の当初予算に比し一億三千万円の増となっています。

△衛生費　一億八千七百万円

高齢の健康衛生、伝染病予防、環境衛生、下水道の維持改良が主なもので、このほか屎やためのくみ取自動車三台、防疫用の動力噴霧機、マンホール清掃用の自動車など衛生関係用の小型自動車を購入することにしています。

△教育費　五億一千七百万円

教育施設の改善充実はこれまでも決算の重点として力を入れてきましたが、四十年度に引き続き、この施策強化に意をそそぐ。

公害対策

昭和四十年度の予算額は一般会計三十八億一千六百八十八万円、特別会計十一億七千八百十一万円、計五十一億五百七十九万円となりました。一般会計予算案の歳出内訳は次のとおり。

歳出

◎建設関係

建設事業は新産業都市建設の基礎準備と市民の日常生活に直結するということから、市政の最も重要な施策の一つとして取り上げてきたもので昭和四十年度の当初予算より一億四千万円の増となっています。

△土木費五億八千四百万円

国体関連道路や一般道路の補修維持、補修などに一億二千四百万円、津留、西大分、鶴崎本町の都市改造事業、新大道～南春日線、王子町～堀迫線、東新町～新出島線、寺司～二佐線の街路事業、大分城跡の整備、下水道事業など都市計画事業に三億六千五百万円、市営住宅四十八戸の建設費四千三百万円が主なもの。

△失業対策費　二億四千二百万円

道路の舗装、新設、改良、補修がその主なもので、機械力の整備も進めることにしています。

△土木災害復旧費　八百九十万円

昭和三十九年度および四十年度に災害を受けた二十二ケ所の道路の復旧費。

◎民生関係

高齢の福祉向上を図るため、民生費、衛生費あわせて八億八千八百万円を計上しました。

△民生費　七億七十万円

主なものは生活保護費五億五千一百万円、児童福祉費七千四百万円、老人福祉費二千百万円などで昭和四十年度の当初予算に比し一億三千万円の増となっています。

△衛生費　一億八千七百万円

高齢の健康衛生、伝染病予防、環境衛生、下水道の維持改良が主なもので、このほかし尿

人口は全国で第41位

年齢別では16歳が最高

昨年10月、全国いっせいに国勢調査が行なわれましたが、この調査によって私たち市民の生活状態のあらましがわかりました。

以下調査からみた大分市の姿です——。

五年間に九・三%増

人口総数……市の人口総数は既報のとおり二三万六四一五人、（男一〇万八一九一人、女一一万八二二四人）で前回（35年調査）—鶴崎、大在、坂ノ市、鶴田、大南の各町区を含むーより一万九二六四人も増加しました。この五年間の増加率は九・三%で全国的な減少都市ということができます。

この人口は大分県下の一九%強を占め、もちろん県下一。全国では東京から数えて第四十一位になります。大分市のすぐ上位に富山市（二三万九八〇九人）豊橋市（二三万八七二人）がつづいています。

女は男より一万〇三二人多く

女百人に男九一・五人の割合です

南大分校区最高の増加

人口別区校……増減別、校区別の人口を前回（35年調査）とくらべてみますと、大分南校、豊饒校区は人口減少しましたが、ことに大分南校区は九・三%の減少率を示しています。これは市街地の人口が郊外へ移動したことを反映しているようです。

校区別では、増加したところは南大分校区を筆頭に鶴崎、大南、金池、春日、別保など十九校区で反対に減った校区は、吉野、竹中校区など十七校区です。

多い十五～二十歳まで

人口構成……人口を年齢別にわけてみますと十五～十九才がいちばん多く、最高の十九才の人口二万七三三五人です。この層の人口二万七三三一人は四十～四十四才の層の二倍近くをしめています。

〇才から二〇才までと、二十才から四一才までは各才とも二千人前後です。十五才から十九才までを除いては各年令層から働きざかりの年代までほぼ同じ人口構成となっています。

年齢別人口を五才ごとにまとめて表にしてみると十才から二十九才までがややあつく、十才以下と四十才以上がうすくなっています。

人口構成は、二十才～二十九才までの人口減少のため、戦前戦時のピラミッド型からはほそりのつぼ型に変わっています。

働く市民は四四・九%

就業状況……就業しているのうち、職業につ いている人は一〇万一六一四人で、全市民の四四・九%を占めています。

就業している人の男女別では、男六万〇七八八人（五九%）女は四万〇八六八人です。

就業している人の職業は①卸売、小売業（一万三七〇人）②農業（一万〇五九一人）③サービス業（一万六二六一人）④製造業（一万三三七三人）⑤建設業（一万〇四四八人）以下運輸通信業、公務員、金融保険業、不動産業、電気ガス水道業、漁業、林業の順。

従業上の地位は、雇われて働いている人が六万三六八三人で六二・七%、会社などの役員をしている人が二三五二人、自家営業の手伝いをしている人が一万六七五六人です。

家族数は平均四・〇人

家庭状況……市内の世帯数は五万九七五世帯で、一世帯の家族数は四・〇人（前下平均は四・二人）です。前回（35年調査）の四・一人からみれば少しづつ増加しています。

住宅の状況（前回35年調査）世帯数は四万二四七二は借家の家を持っている家庭が一万七二三二世帯（六二・四%）間借りしている家庭が一万一七〇四二世帯（二六・九%）社宅などに住んでいる家庭が一四二〇世帯、間借りしている家庭が二一九三世帯、寄宿、下宿が二世帯その他となっています。

人権擁護委員

最近、私たちの日常生活はあまり目立たない人権侵害におびやかされることが多く、幸福な生活を営む上で何らかの形でジャマされている場合が多いようです。

例えば、対人関係、親子間の紛争、婚姻家庭間あるいは農地問題などで悩まされている方もあるでしょう。

これは、人権を尊重する気持が最近はうすれてきたことにもよりますが、人権侵害を受けた被害者がいつも泣き寝入りして問題をすませていることにも大きな原因があるようです。

人権侵害……気軽にご相談を

人権侵害を受けた場合は泣き寝入りすることなく、もよりの人権擁護委員さんに気軽るにご相談ください。委員の職務は①自由人権思想の啓発宣伝②民間における人権擁護運動の助長③人権侵犯事件の調査④貧困者の訴訟援助、その他人件侵犯事件の侵犯事件の救済のため適切なる措置をとることなどです。

委員はもちろん無料で相談に応じ調査にあたっては関係人の秘密を他にもらしたり、差別的な取り扱いをすることなく、公平な立場から事件の解決につとめることになっています。大分市の人権擁護委員はつぎのかたです（敬称略）

◎大分地区…佐藤啓雄（錦町一丁目）瑞木一馬（城崎町二丁目）羽田野忠文（中島西）木本利蔵（今津留）◎鶴崎地区…田川三佐男（三佐）阿部勝義（寒鳥）◎大在地区…藤沢栄（大字北）◎坂ノ市地区…堆肥正幸（大字坂ノ市）◎大南地区…加藤大蔵（大字北）◎鶴田地区…（上片平）

第42回市民映画劇場

「わんわん物語」など

ディズニー作品三本立

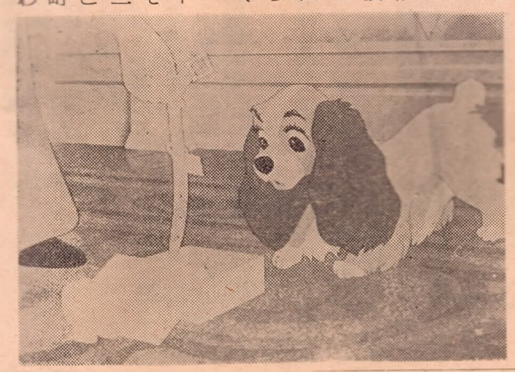
第42回市民映画劇場は「わんわん物語」「霧の中の虎」「首のない馬」とディズニー作品三本立おもしろさ、楽しさ、ゆかいさがいっぱいの家族向きの映画です。

「わんわん物語」は私たち人間にとって一ばん仲のよい友達といわれている犬たちのすばらしい世界をディズニーが四年もかかって作りあげたすばらしい漫画映画です。かわいいコッカスパニエルのレディちゃん、正義のためにはとても勇敢にたたかう雑種で家なしのノラ公そしてノラ公とレディちゃんといろいろ助けるたくさんのわんちゃん仲間。さて、ノラ公とレディちゃんの大活躍とは——。

「霧の中の虎」は、いなか町にきたサーカスから脱走したベンガル産の虎をめぐって職務上射殺しなければならない保安官と動物愛護の立ち場から、生けどりを主張するその娘との対立を描く、サスペンスとアクションを盛りあげたこれも同じくディズニー作品、

「首のない馬」——これは首がとれてなくなった木馬の三輪車です。でも、これは指笛ひとつで町中の犬を集めるかわいい少女マリオンと四人のこどもたちのたいせつな宝物です。ある日、五人のこどもたちは「首のない馬」から大変な事件にまきこまれます。そして、町中の犬の助けをかりて、一億プランを盗んだおそろしい強盗団をつかまえてしまう、とてもハラハラする痛快な冒険と笑いがあふれるすばらしいディズニー映画です。

◎上映期間　3月26日～4月5日
◎上映館　大分ロマン　◎料金市民割引番券持参で大人二百五十円、大学生二百円、高校生百五十円、中学生以下百円（写真はわんわん物語のレディちゃん）



自治委員さんがかわる

鶴崎地区の宮谷、舌出、仁万の三町内の自治委員さんがかわり、ことしの一月からつぎのかたがたしく自治委員さんになり、町内の世話をすることになりました。

◎新自治委員
鶴崎地区宮谷　渡辺　重則さん
〃　新田　金丸三郎男さん
〃　広内　村上　重角さん
（市役所）

大在地区で夏かんのとり入れがはじまりました。ことしは平年作だが味は上々とのこと。夏の風味をお楽しみください。

おすみですか

市税や水道料の納入はお早めに

三月は市役所の会計年度の最後の月です。市民税や固定資産税、国民健康保険税などの納入はおすみですか。まだすんでない方は三月末までに納めてください。滞納のある方もこの際納めてくださいますようお願いします。

今月の納期……水道料金、水道の修繕料の納期は三月末までです。お早めに納めてください。一月以前に未納のある方も、この際ぜひ納めてください。

養命大学を開講します

おとしよりの方が、日々楽しく暮らす現代世相の知識を学んだり、また生き甲斐を見い出したりする場として「第七回養命大学」をつぎのとおり開きます。参加ご希望の方は三月末日までに、年間通信費百円をそえて中央公民館にお申し込みください。

○開催期間　四月から来年三月まで毎月一回
○会　場　荷揚町の老人会館
○参加資格　大分市民で60才以上
○定　員　百名
（中央公民館）

三才児の健康診査を行なう

鶴崎・稙田
大南地区で

大分保健所では三才児の健康診査を次のとおり行ないます。この健康診査は幼児期の身体発育と精神発達の面からみて非常に重要です。近くの場所でぜひお受けください。料金は無料です。

○該当児は昭和36年7月1日から昭和37年6月30日までに生まれた三才児
○受診のときは母子手帳をお持ちください。

○その他で不明の点は市衛生課または支所窓口にお問い合わせください。
○日程と場所　3月22日　鶴崎中央公民館　9時30分から11時までは松岡、明治校区、13時から15時までは鶴崎、別保、三佐、高田川添の各校区
3月23日　稙田公民館　9時30分から11時までは東稙田校区、13時から15時までは稙田、賀来校区
3月24日、戸次公民館　9時30分から11時までは判田、竹中校区、13時から15時までは戸次、吉野校区
（大分保健所）

犬の登録と予防注射を必ず

昭和41年度第一期の飼犬の登録と狂犬病の予防注射をつぎの日程で行ないます。注射料は百五十円です。登録手数料は三百円です。
なお、昭和40年度の鑑札は3月末日で無効となります。

園芸教室に参加しよう

趣味を生かし、情操を豊かにするとともに、花いっぱい運動にも協力するため、国体時期まで仕上げる菊作り（懸崖の初歩から）と朝顔栽培の「園芸教室」をつぎのとおり中央公民館で開きます。希望者は3月末日までに実費百十円（苗80円、種30円）をそえて中央公民館にお申しこみください。
○開催期間　4月～10月まで月1回（第一土曜日）
○会　場　中央公民館
○時　間　午後1時半～3時半
○定　員　50名
なお、一人につき菊苗2本と朝顔種子5粒を公民館で世話します
（中央公民館）

危険物取扱主任者試験

○試験種類　乙種第四類
○試験日時　41年4月10日、午前10時から
○試験場所　県立鶴崎高校
○受験資格　学歴に制限はなく六カ月以上危険物取扱実務の経験を有する方
○願書締切　41年3月25日
○受験願書用紙　その他くわしいことは大分消防署、鶴崎消防署にお問い合わせください。

◎受験のための講習会
3月18日午前9時から市内寿町の県労働福祉会館で危険物取扱主任試験のため、事前に講習会を開きます。受験希望者はこの講習会をご利用ください。（消防署）

自動車税のお知らせ

◎納期がかわりました
昭和41年度から自動車税第一期分の納期が4月30日（前年度までは5月31日）にかわりました。おまちがえのないよう納期限までに納税通知書で納めてください。

◎登録手続きはこうです
自動車税は、陸運事務所で登録したときに、申告書を提出していただき課税の事務を行なっています。この手続きを怠ったり、遅れたりすると不利益を受けることもあります。つぎの点にご注意を。

①住所を変更した場合…変更登録をしないと納税通知書が届かないおそれがあります。
②他人に譲渡した場合（下取り車に出した場合を含む）…移転登録をしないといつまでも課税されます。また、移転登録が遅れるとつぎの課税時期にも課税されることがあります。
③使用しなくなった場合…まつ消の登録をしないといつまでも課税されます。まつ消登録が遅れると月割課税の期間が長くなり余分に負担しなければなりません。
（県税事務所）

固定資産台帳をごらんください

昭和41年度の固定資産課税台帳を3月31日（土曜の午後、日曜を除く）まで、課税課、支所、出張所で縦覧しています。お忘れなくごらんください。（課税課）